会　　告

日本鉄鋼協会第47回通常総会開催御通知

会員各位

日本鉄鋼協会会長　浅　田　長　平

本会第 47 回通常総会を下記の通り開催いたしますので何卒ご出席下されたくご案内申上げます。

通常総会要領

1. 日　時　昭和 37 年4月3日（火）13·00 より
2. 会　場　東京都文京区本富士町　東京大学工学部2号館大講堂
3. 議　案　（1）昭和 36 年度事業報告，収支決算ならびに財産目録の件
   （2）昭和 37 年度事業計画ならびに収支予算の件
   （3）理事，監事ならびに評議員選挙の件
4. 表彰式　（N 10 ページ参照）

理事·監事ならびに評議員投票について

第 47 回通常総会（昭和37年度）において選挙せらるべき理事，監事ならびに評議員候補者は，定款施行細則第6条により評議員会において別紙投票用紙(会告N11ページ)に記載の通り推薦せられました．ついては名誉会員，賛助会員，維持会員および正会員各位は右候補者につき下記要領によりご投票下さるようお願いいたします．

（1）投票用紙には，ご異議のある方に×印をつけ，なおその代りにご推薦下さる方の氏名を記入して下さい．
（2）投票は必ず本会所定の投票用紙をご使用下さい．
（3）ご投票がなければ全部原案にご賛成のことと拝承させていただきます．
（4）当日ご欠席の方は委任状に記名捺印のうえご返送下さい．（投票用紙ならびに委任状は会告N11ページに掲載してあります）

服部賞，香村賞，俵賞，渡辺三郎賞 渡辺義介賞，渡辺義介記念賞 各賞受賞者氏名

（敬　称　略）

服部賞	八幡製鉄(株)取締役本社計画部長	武田喜三
香村賞	富士製鉄(株)広畑製鉄所副所長	芹沢正雄
俵賞	名古屋大学工学部講師	岡嶋和久
	〃　教授	井上道雄
	〃　教授	佐野幸吉
渡辺三郎賞	(株)日本製鋼所室蘭製作所研究所第二部長	前川静弥
渡辺義介賞	川崎製鉄(株)取締役社長	西山弥太郎
渡辺義介記念賞	(株)日本製鋼所室蘭製作所製鋼課長	池見恒夫
同	八幡製鉄(株)光製鉄所条鋼圧延作業長	石田勇
	〃	上野弁之助
	〃　電気整備作業長	門田貫介
同	住友金属工業(株)和歌山製鉄所工程部長	臼井大八郎
同	八幡製鉄(株)本社建設本部次長	小田孫次
同	日本鋼管(株)川崎製鉄所製管第三課職長	北村善次郎
同	八幡製鉄(株)技術研究所製銑研究室長	児玉惟孝
同	北日本特殊鋼(株)八戸工場次長	田阪興
同	尼崎製鉄(株)呉製鋼所生産製鋼課係長	高見鶴吉
同	(株)神戸製鋼所神戸研究部技師	成田貴一
同	富士製鉄(株)広畑製鉄所熱圧延部長	野田郁也
同	東洋鋼鈑(株)下松工場管理部長	萩原信夫
同	東北大学工学部助教授	不破祐
同	東京大学工学部助教授	藤田利夫

投　票　用　紙

（敬　称　略）

理事候補者

補欠1名（任期1年）

作井　誠太

改選7名（任期2年）

伊木　常世　　入　一二　　川村　宏矣　　武田　喜三　　三島　徳七

村田　　巌　　安原　四郎

監事候補者

改選1名（任期2年）

葦沢　大義

評議員候補者

補欠7名（任期1年）

秋田　武夫　　奥村　虎雄　　近藤　八三　　佐藤　忠雄　　名児耶　馨

南里　辰次　　吉川　正雄

改選75名（任期2年）

網谷　俊平	綾部　　先	荒木　　透	伊佐治勝利	石田　四郎
石原　正美	石原　善雄	井関　　剛	伊藤　五朗	井戸崎好次
茨木　正雄	今井勇之進	井村　荒喜	岩井雄二郎	岩瀬　慶三
植山　義久	内川　　悟	太田　久男	大元　　博	岡田　知彦
荻野　　一	奥村　福次	小田原大造	小野　清造	小野田武夫
金森　九郎	川本　　勇	菊田多利男	北川　一栄	木下　　茂
桑田　賢二	五弓　勇雄	小平　俊雄	小林佐三郎	西郷　吉郎
雀部　高雄	佐野　幸吉	芝崎　邦夫	清水　芳夫	志村清次郎
水津　利輔	菅野　　猛	園田　一夫	高尾善一郎	武田　修三
田中　国雄	谷口　光平	谷村　　潔	出淵　国保	中島　省一
中野　　宏	中安　閑一	中山　育雄	西村吉太郎	野島福太郎
橋本　宇一	長谷川正義	藤川　一秋	藤木　俊三	堀田　秀次
堀田　之孝	松永陽之助	松原与三松	三井　太佶	宮代　　彰
毛利　定男	森　　暁	森棟　隆弘	八木貞之助	柳　　武
山本　信公	湯川　正夫	吉井　周雄	吉崎　鴻造	和田　亀吉

……切……取……線……

収入印紙は必要に応じ当方で貼付いたします

委　任　状

私は　　を代理人と定めつぎの権限を委任いたします．

一，昭和 37 年4月3日午後1時より開催の社団法人日本鉄鋼協会

第 47 回通常総会に出席し議決権行使に係る一切の件

昭和 37 年　　月　　日

名誉会員・維持会員
賛助会員・正 会 員　（氏名）　　（捺印）

特別講演会開催御案内

本会では4月上旬にドイツの SCHENCK 博士，スイスの DURRER 博士が来日されますので，この機会に両博士にお願いして下記の通り特別講演会を開催することになりました．多数御聴講下さるよう御案内申上げます．

記

1. SCHENCK 博士特別講演会
   日　時　昭和 37 年 4 月 2 日（月）10·00～12·00
   会　場　日本相互ホール(東京都中央区八重洲２の１，呉服橋交叉点角，日本相互ビル８階)
   演　題　ドイツにおける鉄鋼研究活動の現状
   講　師　HERMAN SCHENCK 博士(ドイツ鉄鋼協会会長，アーヘン工科大学教授，クルックナーウェルケ会社取締役)

2. DURRER 博士特別講演会
   日　時　昭和 37 年 4 月 2 日（月）14·00～16·00
   会　場　日本相互ホール　(東京都中央区八重洲２の１，呉服橋交叉点角，日本相互ビル８階)
   演　題　ヨーロッパにおける新らしい製鉄法，特に酸素の使用について
   講　師　ROBERT DURRER 博士（スイス　チューリッヒ大学教授兼ロルシエン製鉄会社常務）

新版鉄鋼便覧の発刊および会員特典について

去る昭和 33 年9月に当時の塩沢会長を委員長として改編委員会を設け編集中でありました新版鉄鋼便覧は，改編委員および執筆者各位のお骨折により，いよいよ本年春季講演大会を期して発刊の運びとなりました．新版鉄鋼便覧は現鉄鋼便覧刊行以後のわが国鉄鋼業の著しい発展，新技術の開発，新鋭設備の整備等に鑑みまして，現便覧を根本的に改め最新のデータを盛込み本誌色刷広告記載のような内容としたもので，会員各位の座右において活用されるに一層便利なものとなりましたことと信じます．

つきましては，本便覧発刊に当り，本会会員のための特典を種々検討しましたが，会員特価を設けて別送するといたしますと，何分にも大冊でありますので相当多額の郵税を必要とし，また包装を慎重にしましても郵送の途中破損するおそれがありますので，会員特価は設けぬことといたしました．その代り，本便覧を購入された会員各位が同書奥付右下に印刷してあります本協会マークを切取り，本誌に綴込んであります葉書の指定箇所に貼付け所定事項を御記入の上，本年4月末日（同日付消印のものまで有効）までに本会あて郵送されます場合には，これを以て次回御送金の協会会費の一部（金 300円）に充当することといたしました．ただし1人につき1冊，維持会員については1口につき1冊に限ります．この特典を御利用下さるよう御案内申上げます．

ただし，本便覧は直接協会で取扱いをいたしませんので，御購入の節は発行所丸善株式会社（本社・東京都中央区日本橋通２ノ６）またはその取次店より御入手下さい．

高温強度に関する座談会開催について

本会では日本材料試験協会ほか4学協会共催のもとに高温強度に関する座談会を開催することになりました．多数会員ふるつてご参加下さるようご案内申上げます．

記

1．日　時　**昭和 37 年5月7日（月）9·50～17·00**

2．場　所　大阪大学松下会館講堂
（大阪市北区中之島1　大阪口西口前より市バス辰巳橋もしくは大阪港行乗車田蓑橋下車）

3．定　員　100 名

4．申込先　京都市左京区吉田本町　京都大学工学研究所内　日本材料試験協会高温強度座談会係
なお整理の都合上参加希望者は**4月25日**までに氏名，勤務先，通信先明記のうえ，別記前刷代金を添えお申込み下さい．前刷　1部　350 円（材料試験協会負担）
なお詳細については日本材料試験協会にお問合わせ下さい．

フランス金属学会講演論文募集

フランス金属学会では，1962 年 10 月 15 日から 19 日までパリにおいて開催される秋季大会講演発表を次の要領で募集していますのでお知らせいたします．

Les thèmes choisis

1. Metaux et alliages resistant a haute température;
2. Eemploi du vide et des atmosphères rarefiées en métallurgie.

上記以外でも冶金学に関する独創的論文は受付けられる．

論文提出希望者は4月1日までに題目を通知し7月1日以前に必着するよう 500～800 語（仏，英．独語の何れか）の講演要旨を提出すること．

提出先　Secrétariat de la Société Française de Metallurgie (25, rue de Clichy, Paris 9éme)

大会の際の講演は著者自身仏語にて行なう．著者が外国人の場合通訳者によつて行なうこともできる．